

証人(目撃者)による交通事故に関する証明書

記載例

受 傷 者	住 所	郡山市朝日 1 - 2 3 - 7		
	氏 名	安全一郎	男 明治 大正 昭和 平成	〇〇年 〇〇月 〇〇日生
事故発生年月日		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇 時 〇〇 分 頃		
事故発生場所		さくら通り郡山市役所本庁者前の信号付近		
事故の内容と状況		(例) 自転車で走行中、飛び出してきた歩行者をよけようとして転倒。このとき、自転車の下敷きになり右足を骨折した。		
(具体的に記入すること)		※具体的に詳しく記入		

上記の交通事故は真正にして事実相違ありません。

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

証人(目撃者)住所 郡山市朝日 1 - 2 3 - 7

(TEL) 0 2 4 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

氏名 郡山太郎 ㊟

※この欄は証人(目撃者)が記入する。受傷者の家族が証明する場合は受領権者と別の印を押印する。

私の交通事故は、上記記載のとおり真正であり事実相違ありません。なお、この証明書が事実相違しているときは既に支給を受けた見舞金の返還を請求されても異議ありません。

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

見舞金受領権者住所 郡山市朝日 1 - 2 3 - 7

氏名 安全一郎 ㊟

福島県市民交通災害共済組合管理者様

※見舞金支出命令書と同じ印鑑で押印。
 ※会員が未成年の場合は保護者の連記が必要。上段の証人と違う保護者が連記する。

《例》安全親太郎 ㊟…親の氏名と印
 安全子太郎 ㊟…子の氏名と印

[注意] 警察官・署へは交通事故発生後すみやかに